学校番号	325

令和８年度　地域科

教科	地域	科目	生活と社会	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	「2025-2026 年版 みんなが欲しかった! FP の教科書 3 級」（TAC 出版）、「高校向け　金融教育指導教材」（金融庁）、「シリーズ教材　お金のキホン」（金融経済教育推進機構）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会において、金融に関する制度や仕組みは、私たちの生活と密接に関わっている。一方で、金融やお金の話題に対して「難しい」「自分には関係がない」と感じる人も少なくない。本科目では、将来の自立した生活を見据え、社会保障制度、税、保険、資産形成など、生活に直結する金融分野について基礎的な知識を身につけることを目的とする。
授業では、講義による制度理解と、問題演習による知識の定着を組み合わせながら、用語の理解や基本的な計算に取り組む。日常生活や将来のライフプランを考える際に必要となる金融の基礎を、主体的に学習していくことを期待する。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
生活に関わる金融分野について、社会保障、保険、税、資産運用、不動産、相続などの基本的な制度や仕組みを理解し、用語の意味や基礎的な計算を適切に用いることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
生活における具体的な場面を想定し、金融制度に関する情報を整理・比較しながら、適切な判断を行い、その考えを分かりやすく表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
生活に関わる金融や社会制度に関心をもち、課題や提出物に主体的に取り組むとともに、将来の生活設計について考えようとする態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	生活に関わる金融制度についての基礎的な知識を理解し、用語の説明や簡単な計算などの技能を身につけているかを評価する。	金融に関する情報を基に、生活上の課題について考察し、適切に判断・表現しているかを評価する。	課題や提出物に計画的かつ継続的に取り組み、金融や社会制度について学ぼうとする姿勢を評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ライフプランニング	ライフプランニング 社会保険 公的年金	a：ライフステージと社会保障制度の概要を理解している。 b：将来の生活設計を想定し、社会保障制度の役割について考察している。 c：課題や提出物に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート点検 ワークシート
	リスクマネジメント	生命保険 損害保険	a：保険制度の基本的な仕組みや役割を理解している。 b：生活上のリスクを想定し、保険の必要性について考えている。 c：課題や提出物に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート点検 ワークシート
2	資産運用	債権 株式 投資信託	a：代表的な金融商品の特徴や基本的な用語を理解している。 b：資産形成の考え方について、情報を基に比較・検討している。 c：課題や提出物に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート点検 ワークシート

	タックスプランニング	所得税 所得控除	a：税の役割や所得税の基本的な仕組みを理解している。 b：税制度と生活との関わりについて考察している。 c：課題や提出物に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート点検 ワークシート
3	不動産	不動産の基本 不動産の取引	a：不動産に関する基礎的な知識や取引の流れを理解している。 b：住居や不動産取得について、制度面から考察している。 c：課題や提出物に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート点検 ワークシート
	相続	相続の基本 相続税 贈与税	a：相続や贈与に関する基本的な制度を理解している。 b:家族や社会との関係を踏まえ、相続制度の意義について考察している。 c：課題や提出物に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート点検 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度